



【磯原委員長コメント】

- ・賃上げに関しては、メンバーの声は、これまで以上に厳しいものとなってきています。
- ・フット&ビバレッジ戦略の推進に向け、現状の業務の課題や必要な見直しに取り組んできましたが、新年度は組織体制をはじめ本格的に戦略推進に向けて動き出す中、従業員の処遇への還元のあり方や方法などについても合わせて確認していきたいと思っております。
- ・2025年度は特に働き方の面でフレックス勤務のテストトライアルを行い、対象者や所属を順次拡大しつつ効果を検証してきました。2026度からは本格導入としつつ、育児短時間勤務者への拡大を視野にテストトライを実施していきます。
- 引き続き、長時間労働の軽減や生産性高く働きやすい職場環境の実現に向けて取り組んで参ります。
- ・会社側が新体制なることにあたり、組合としてはこれまで以上にメンバーとの対話を重ね従業員代表として積極的に意見・提案をしていきたいと考えています。

【高橋社長コメント】

- ・2026年のサロン・デュ・ショコラにおいても、前年を上回る売上をつくることとともに、利益向上を目指し三越伊勢丹の担当者とのハードな交渉を重ね、利益確保の仕組みを構築するなど大変な状況だったと認識しています。
- このような環境の中、従業員の賃金改善にあたるベースアップについては、物価上昇対応分としてのグループ共通のベースアップに留まらざるを得ない現状については申し訳ないと思っております。
- ・しかしながら、着任後2年間の中で、要員体制も10名程度増員となり、経営戦略の推進に向けた新規の取り組みも始まり、今後の成長に繋がる土台作りはできつつあります。

